

2011年2月期 第2四半期決算説明会



1
ONLY ONE

その答えは
ポケットカード。



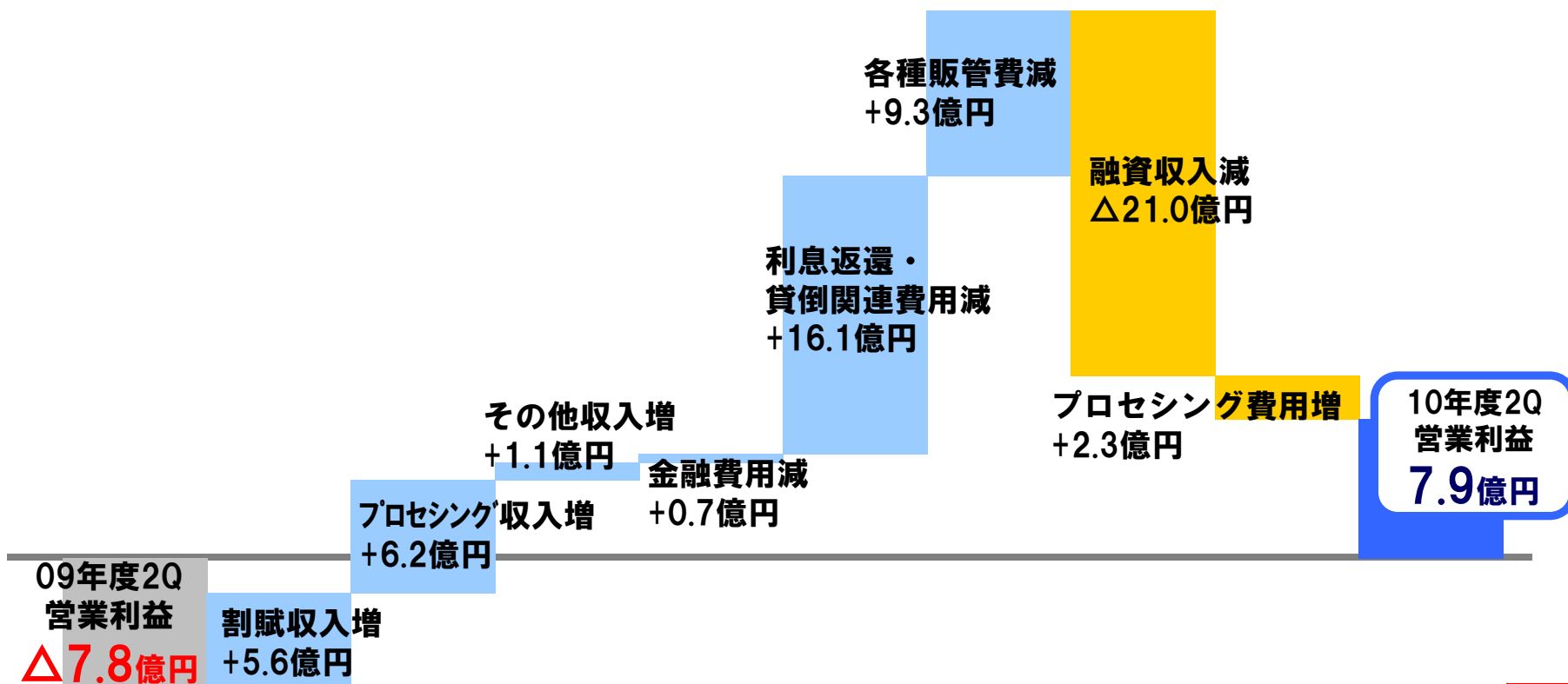
代表取締役社長 **渡辺 恵一**

	10年8月期	前年同期比	期初公表数値
① 営業収益	18,271 百万円	△4.2%	18,100 百万円
② 営業利益	790 百万円	-	500 百万円
③ 経常利益	794 百万円	-	500 百万円
④ 純利益	831 百万円	-	600 百万円

融資収入減を割賦・プロセッシング収入増でカバー
業務効率化、貸倒・利息返還コスト等の費用削減により
前年同期比（営業利益）で**15.7億円**の増益

増益要因 +39.0億円

減益要因 Δ 23.3億円



単位：百万円

	項目	10年8月期	前年同期差	前年同期比
①	割賦購入あっせん	140,473	5,424	4.0%
②	融資	24,107	△11,446	△32.2%
③	その他	1,509	△702	△31.7%
④	取扱高合計	166,090	△6,723	△3.9%

単位：百万円

	項目	10年8月期	前年同期差	前年同期比
①	割賦売掛金	80,853	8,142	11.2%
②	営業貸付金	116,365	△16,557	△12.5%
③	債権残高合計	197,218	△8,470	△4.1%

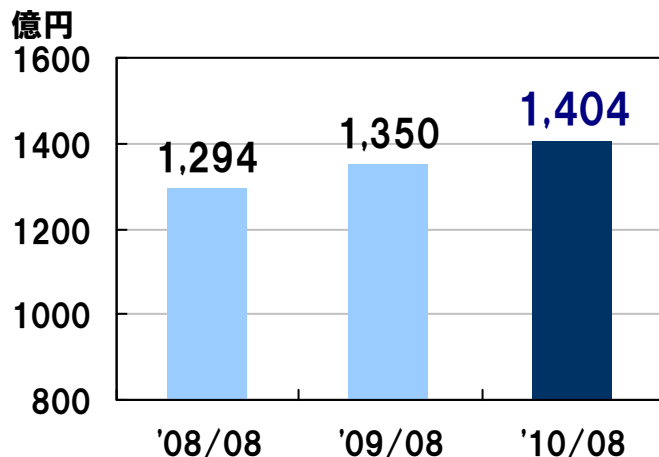
※債権流動化分を含む

単位：百万円

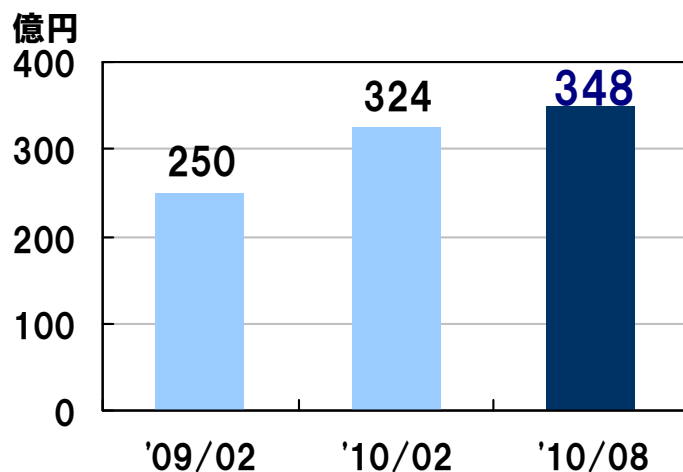
	項目	10年8月期	前年同期差	前年同期比
①	割賦購入あっせん	4,766	559	13.3%
②	融資	10,512	△2,099	△16.6%
③	プロセッシング	2,294	623	37.4%
④	その他	697	116	20.1%
⑤	営業収益合計	18,271	△799	△4.2%

ショッピング取扱高、Sリボ残高は共に堅調に推移

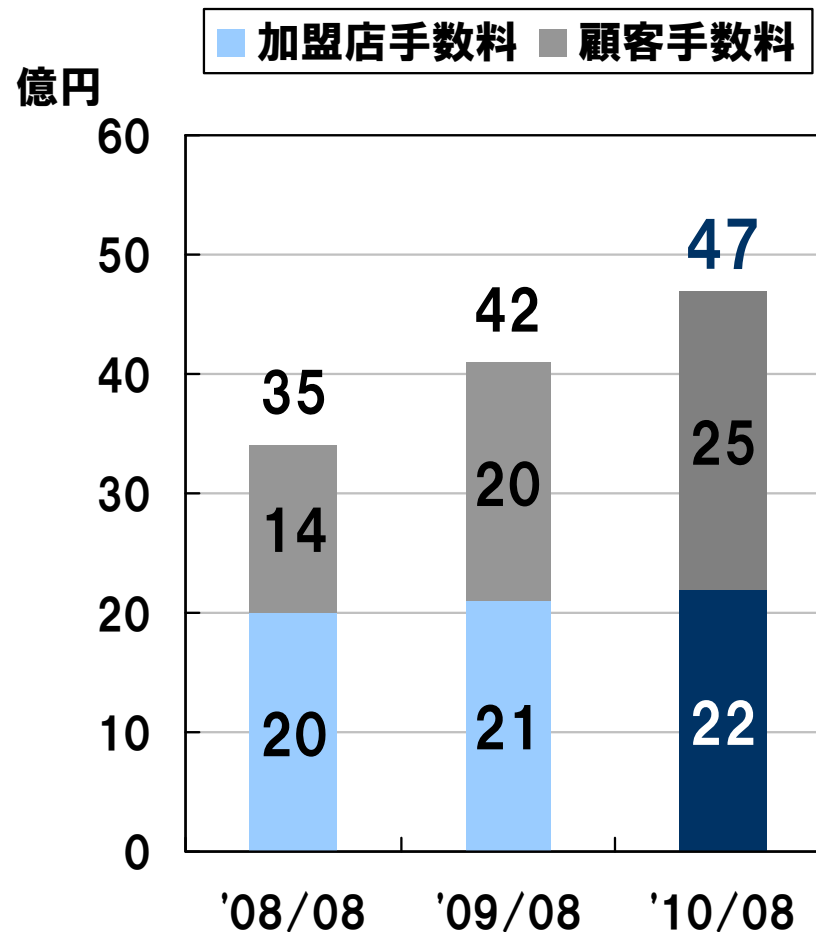
1. ショッピング取扱高推移



2. ショッピングリボ残高推移

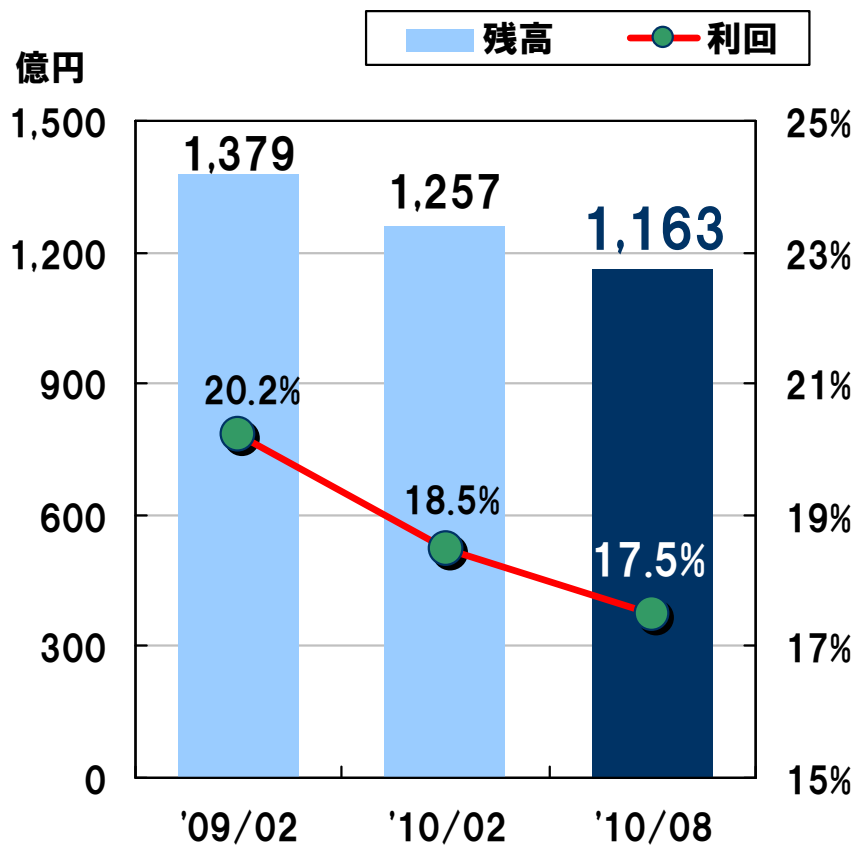


3. 割賦購入あっせん収益推移

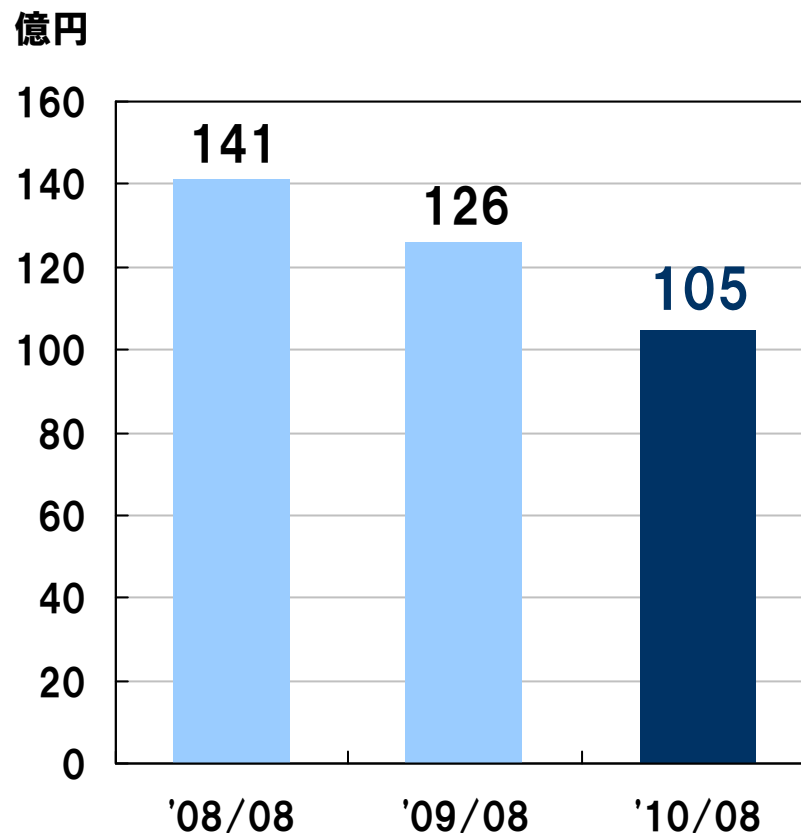


総量規制に基づく与信厳格化等により残高・収益は減少

1. キャッシング残高推移

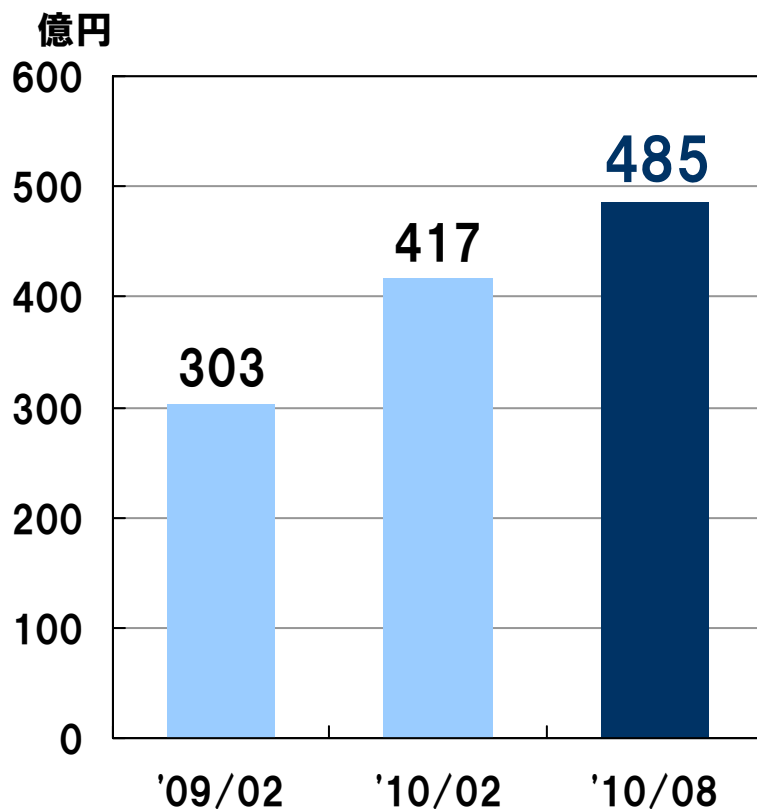


2. キャッシング収益推移

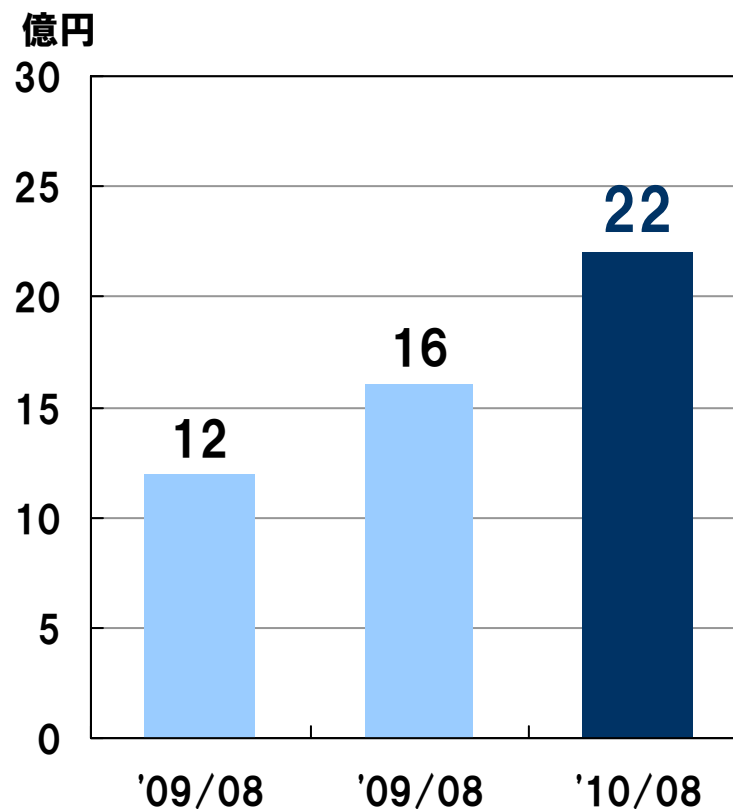


保証残高は計画を上回るペースで拡大

1.保証残高推移

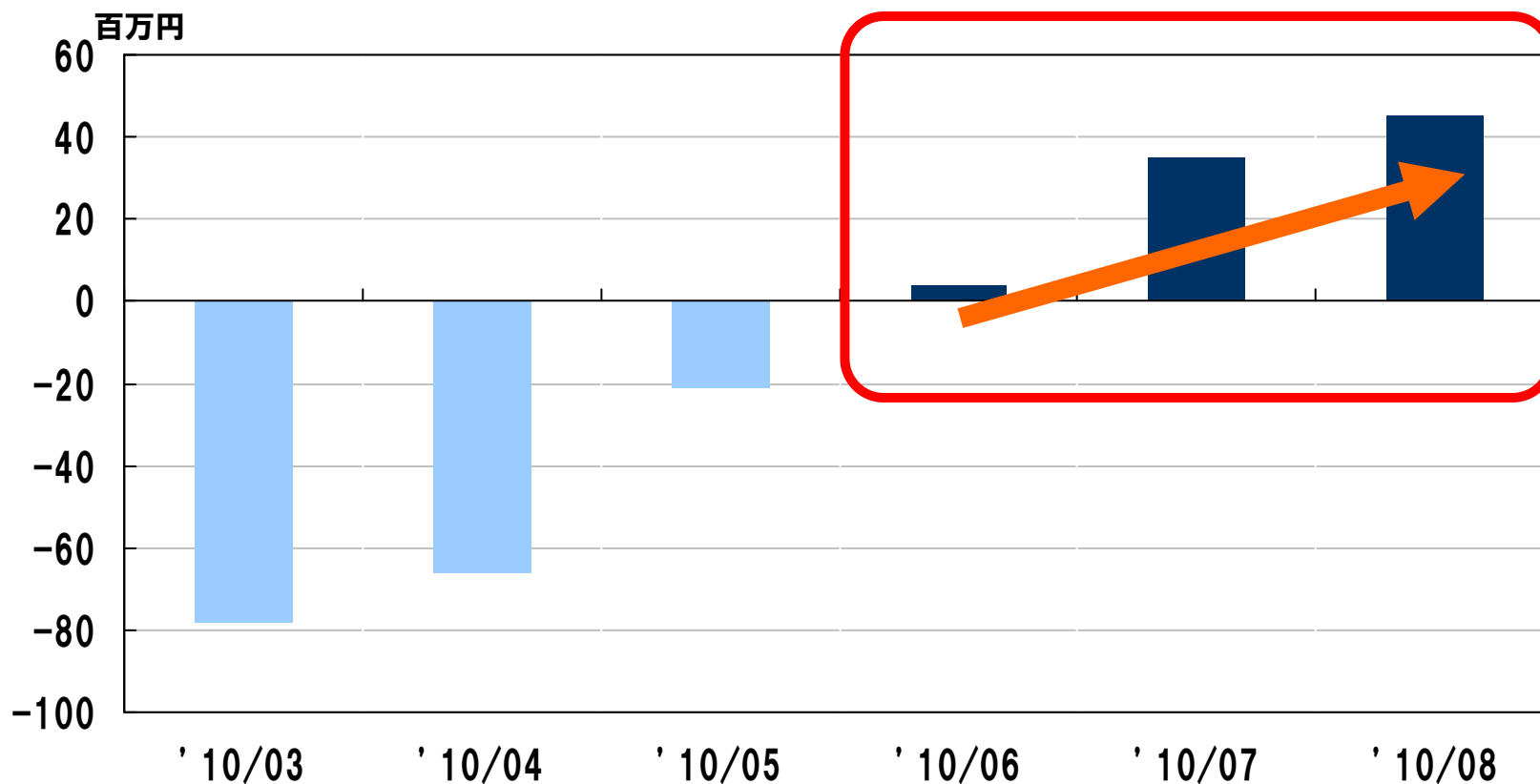


2.プロセッシング 営業収益推移



6月度に単月黒字を達成、以降黒字幅を拡大
年間黒字化に向けて順調に推移

1.プロセシング事業月次損益推移

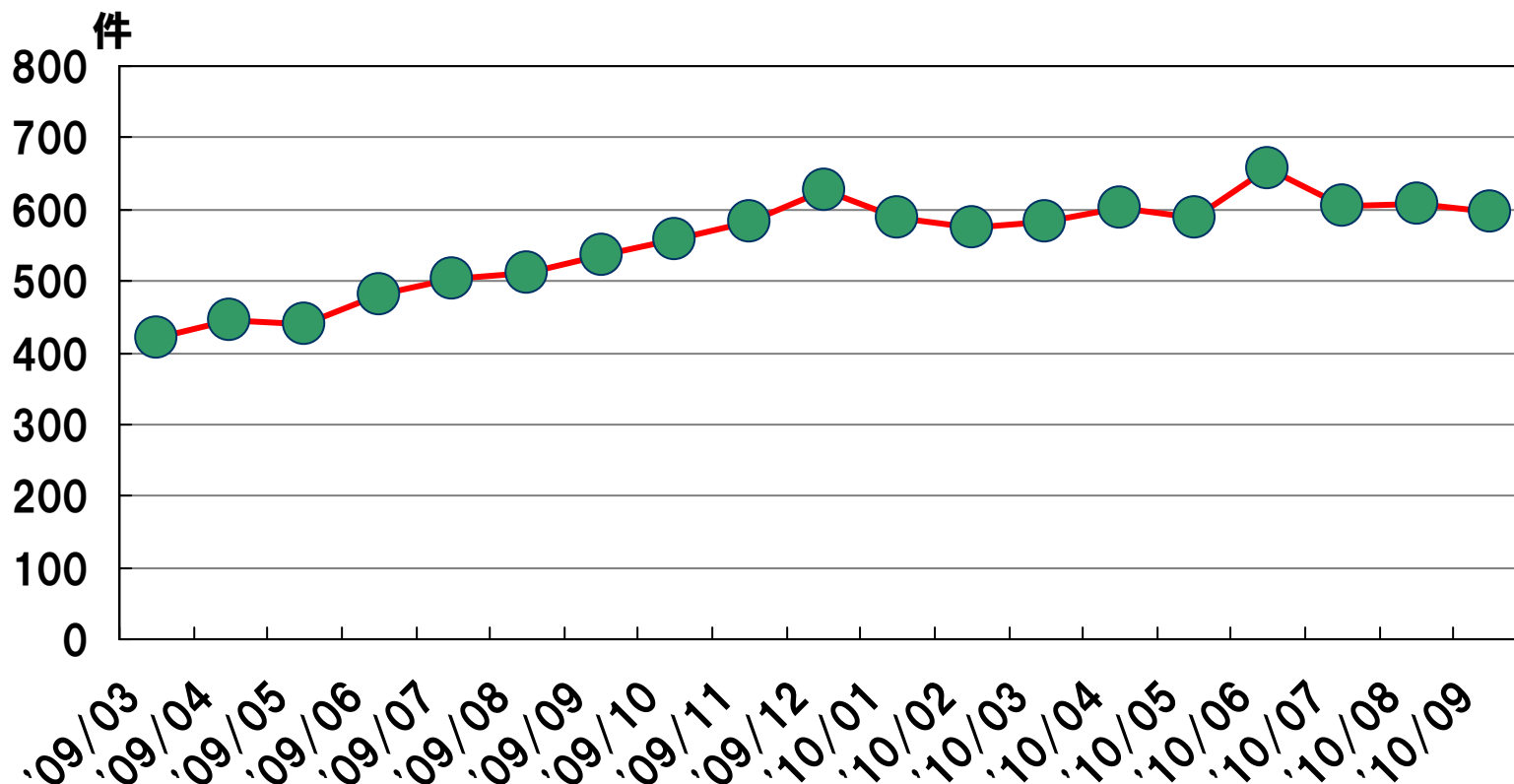


単位：百万円

	項目	10年8月期	前年同期差	前年同期比
①	金融費用	1,705	△68	△3.9%
②	販売管理費合計	15,775	△2,309	△12.8%
③	貸倒利息返還関連費用	5,866	△1,612	△21.6%
④	その他販管費	9,909	△697	△6.6%
⑤	営業費用合計	17,480	△2,378	△12.0%

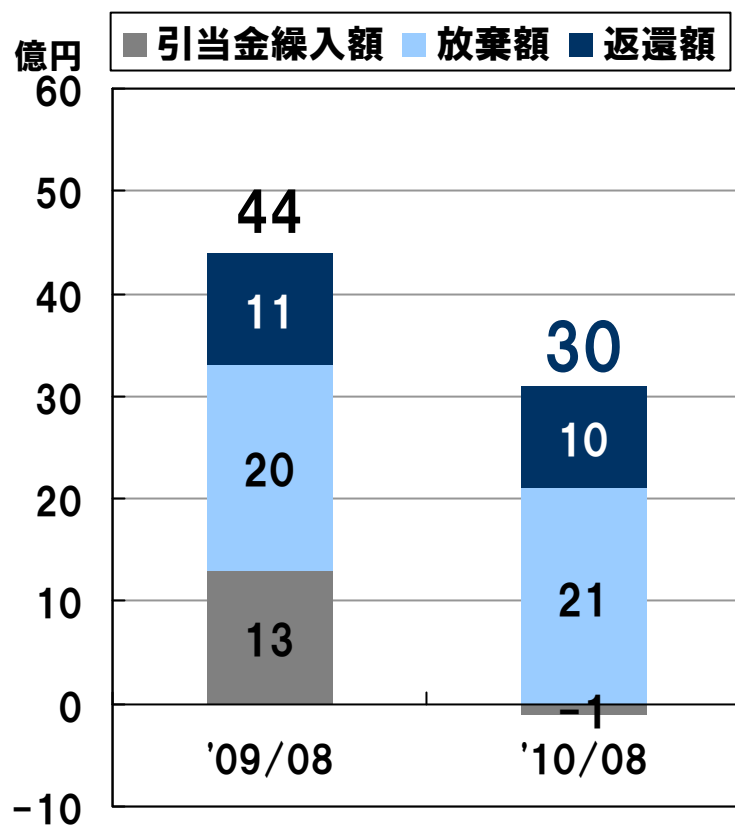
新規介入は減少ながら利息返還請求は高止まりで推移

1.利息返還請求推移

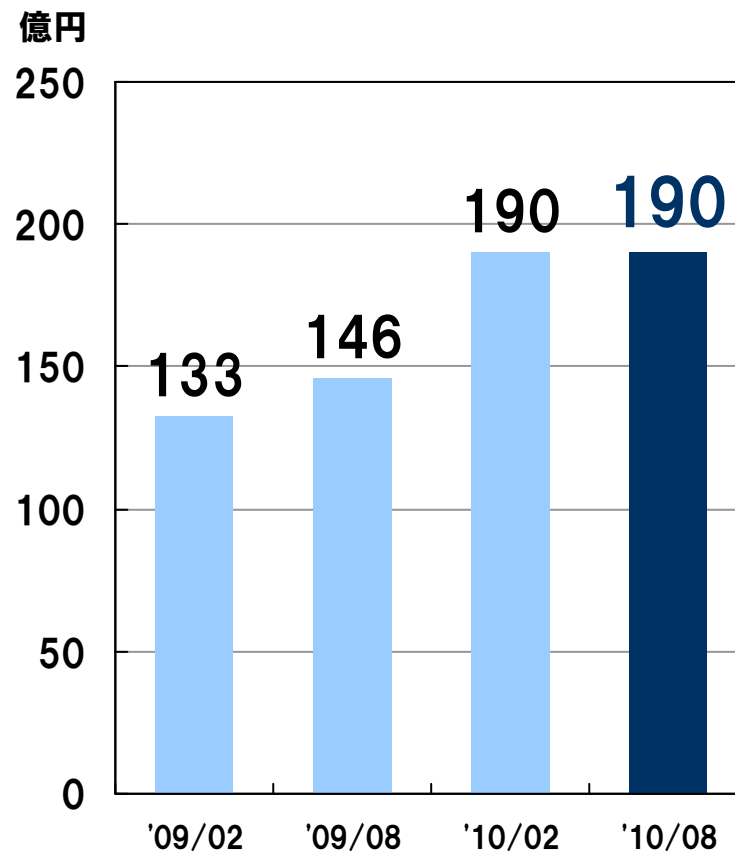


引当金繰入の減少により費用は減少
将来リスクに備え引当金は高水準を維持

1. 利息返還関連費用

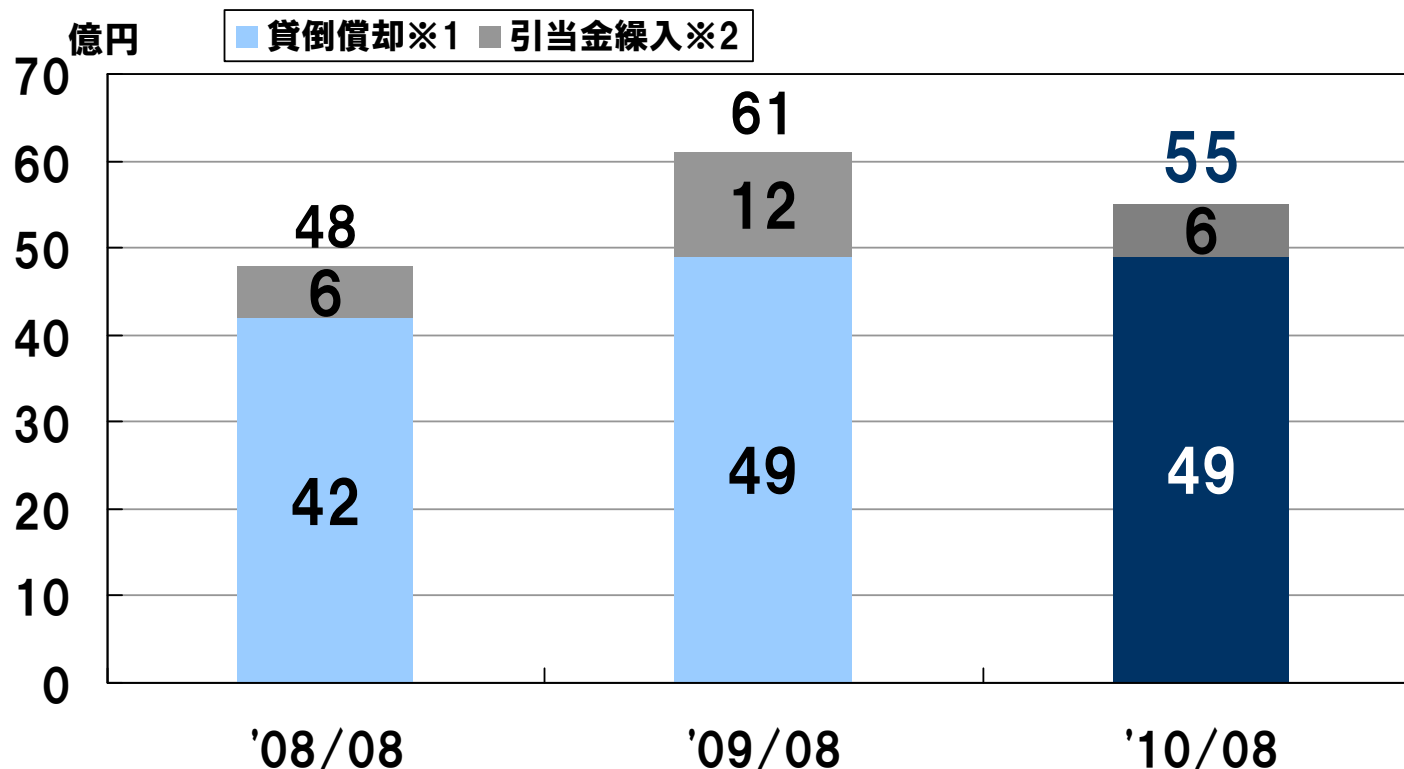


2. 利息返還引当金状況



利息返還部分の引当金繰入減に伴い、 貸倒関連費用は減少

1.貸倒関連費用推移

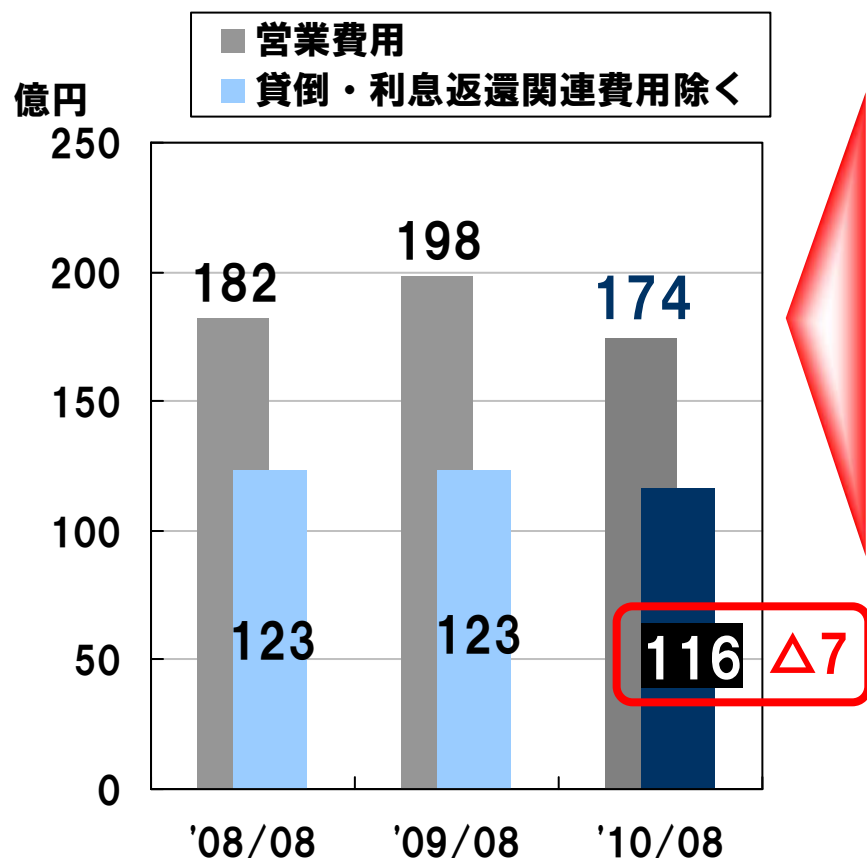


※1 利息返還に伴う債権放棄含む

※2 利息返還に係る貸倒引当金繰入も含む

経営改善計画を着実に実行し大幅な費用減を実現

1. 営業費用推移



2. 主な実施施策

(1) 業務プロセスの見直し

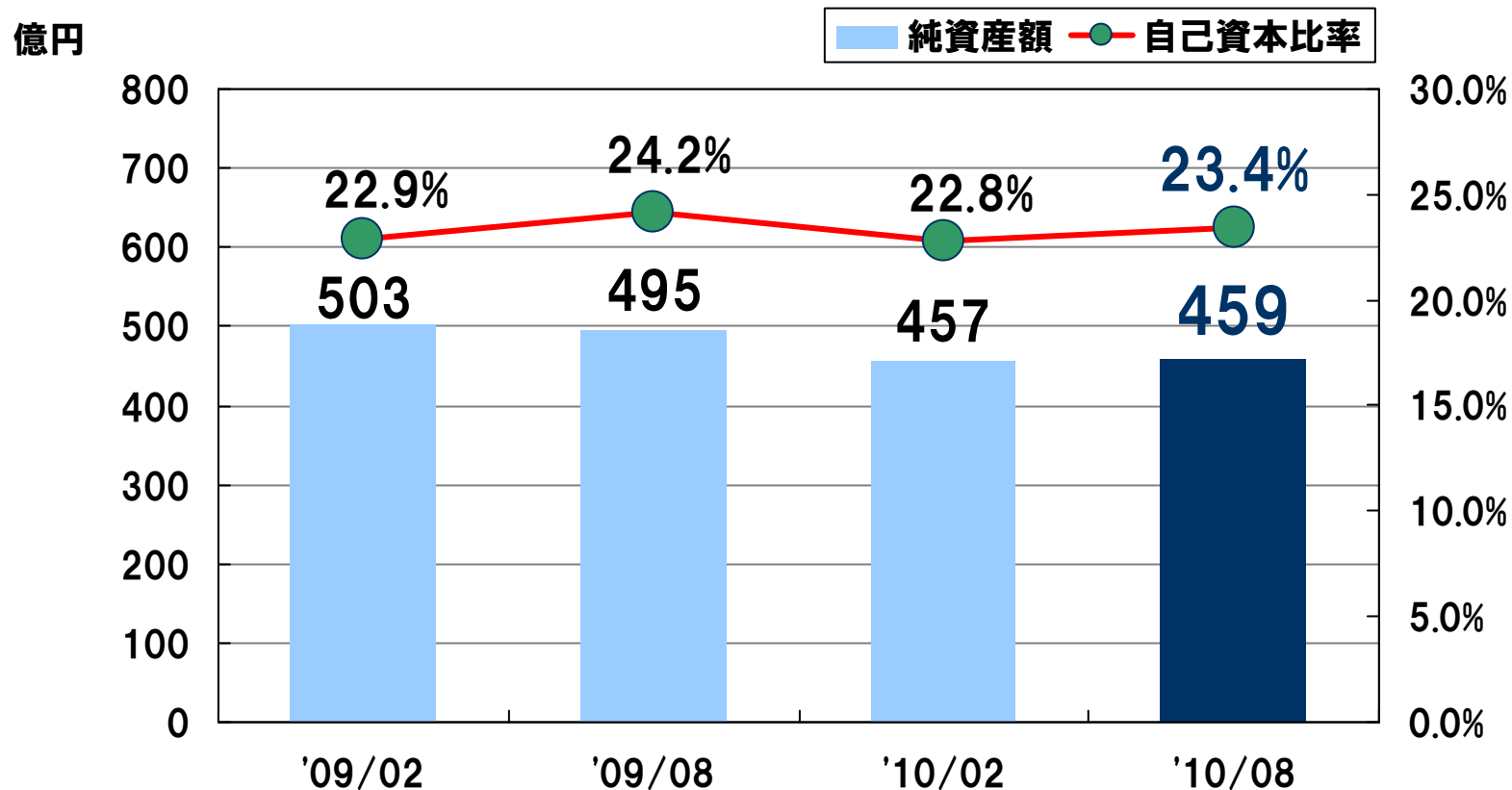
- ・カード特典、サービスの適正化
- ・明細書のハガキ化、Web化
- ・業務委託費用の削減
- ・お客さまセンター問い合わせ一部有料化

(2) 人件費削減・組織のスリム化

- ・役職員の報酬カット
- ・支店営業所統合
- ・業務効率化による人員削減

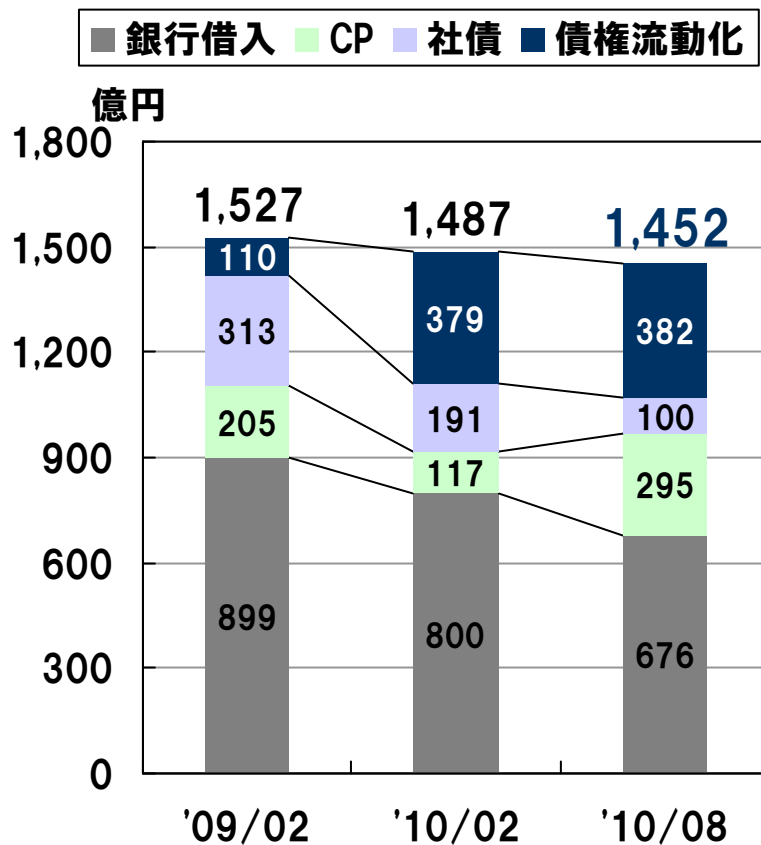
純資産、自己資本比率は安定的に推移

1. 純資産／自己資本比率推移

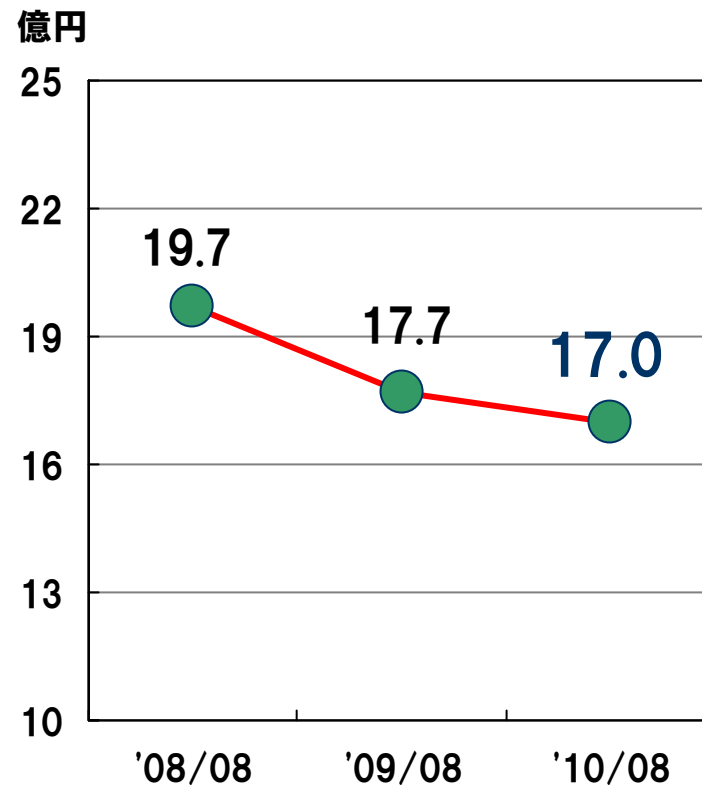


CP・債権流動化等を活用し調達の多様化を推進 調達総額の減少等により金融費用は減少

1. 資金調達状況



2. 金融費用推移



会員戦略は「量から質」へのシフトを推進 効率化の進展により利用率は向上

	10年8月期	前年同期差
① 新規会員獲得数	88 千件	△67 千件
② カード発行枚数	329 千件	△153 千件
③ 自社分	66 千件	△55 千件
④ プロセッシング分	262 千件	△98 千件
⑤ 有効会員数	3,530 千人	△299 千人
⑥ 利用会員数	1,298 千人	△64 千人
⑦ 年間利用率	35.3 %	+0.6 pt
⑧ 月間利用率	22.5 %	+1.2 pt

期初に掲げた経営改善計画は概ね計画通りに進捗

1 選択と集中による営業戦略の再構築

- ・ ショッピングリボ、プロセッシング事業は計画を上回って拡大
- ・ プロパーカードの見直し、各種手数料の徴収等、カード戦略の再構築も進展

2 経費全般の更なる見直しによる経営体質の改善

- ・ 運営コストの徹底削減、サービスの適正化を着実に遂行
- ・ 営業費用の削減額は計画を上回って達成

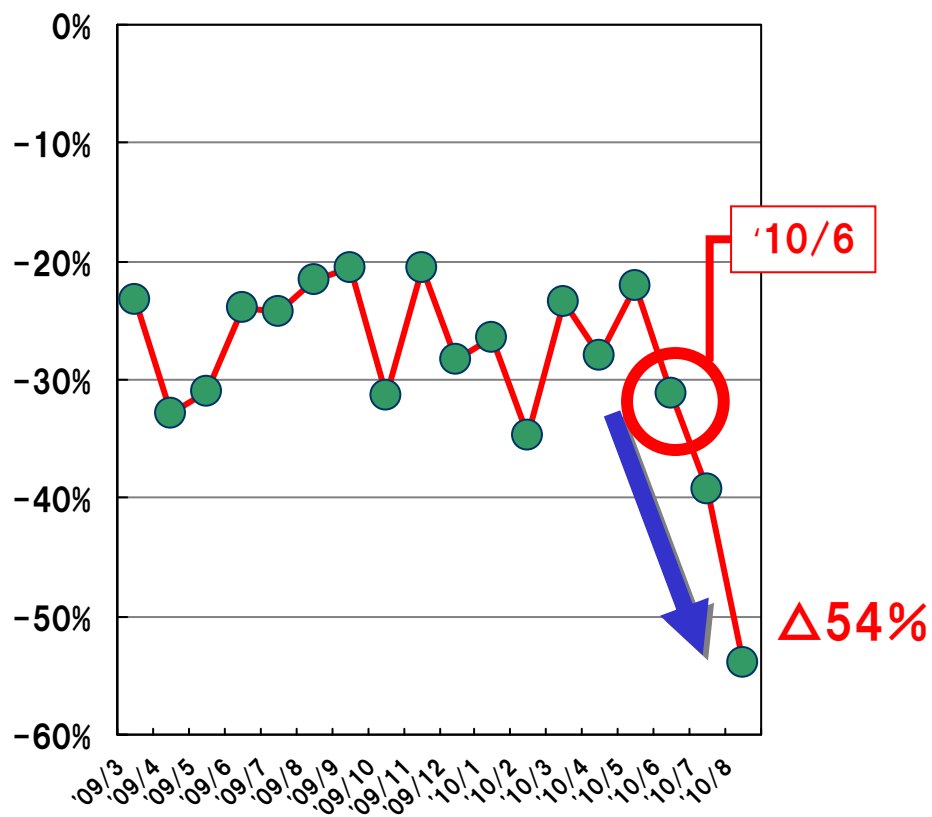
3 組織体制のスリム化と効率化

- ・ 部室統廃合による組織のスリム化、業務効率化による人員数削減を実施

2010年度下期経営方針

キャッシング取扱高は前年同月比で大幅に減少 債権管理面でもリスク面を注視

1.キャッシング取扱高前年同月比推移



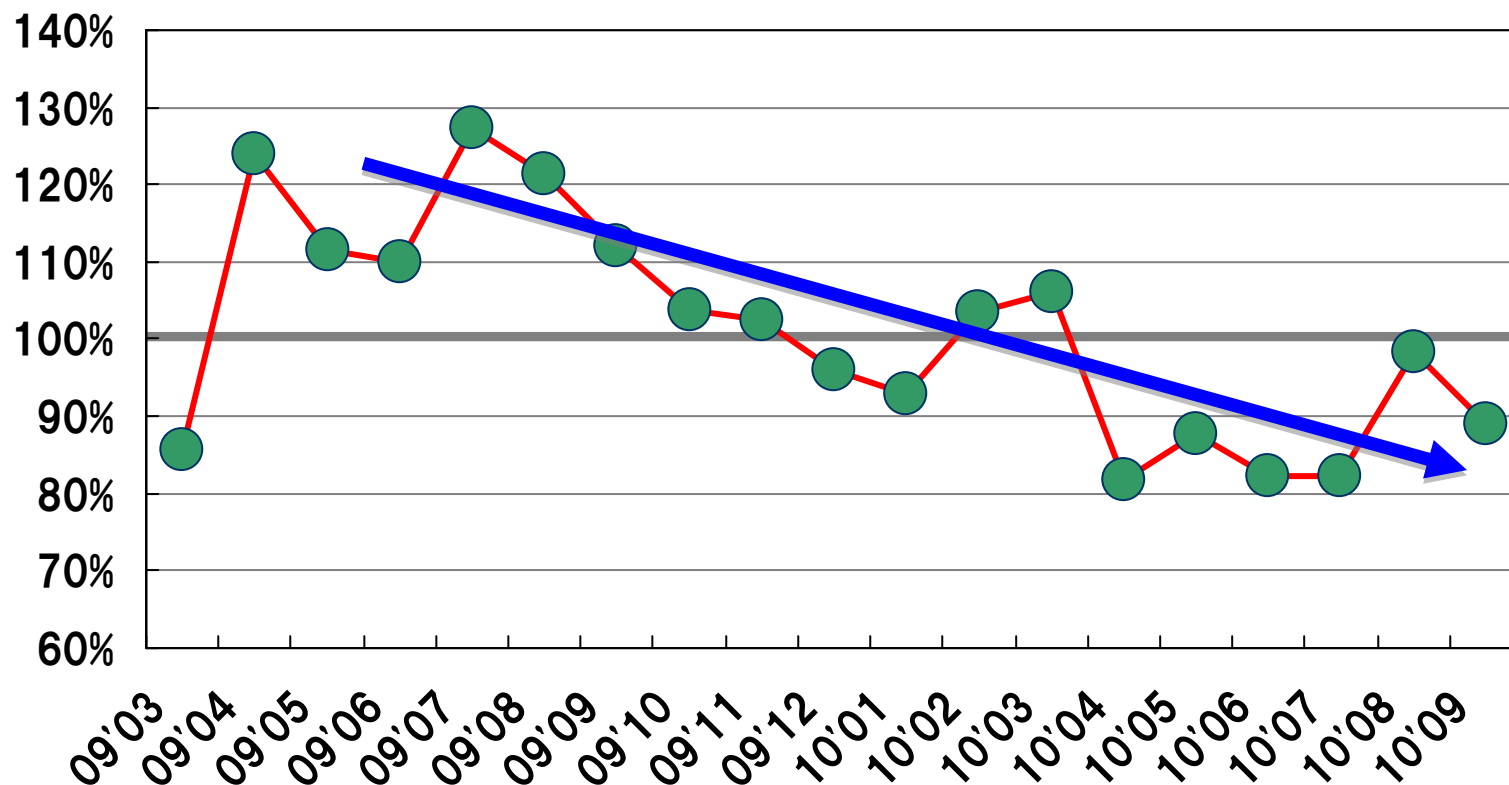
2. 債権への影響懸念

リスク面を注視

- (1) 延滞発生が増加
- (2) 新規介入が増加
- (3) 回収率が低下

先行指標である新規介入件数は
前年同月比を下回る水準で推移

1.新規介入件数 前年同月比推移



1. 2010年度 下期重点課題

1. ショッピングリボ残高の拡大

〈ショッピングリボ残高 380億円（期初計画差+10億円）〉

2. プロセッシング事業の強化

〈プロセッシング収益 48億円（同+3億円）〉

3. 融資事業における総量規制への適切な対応

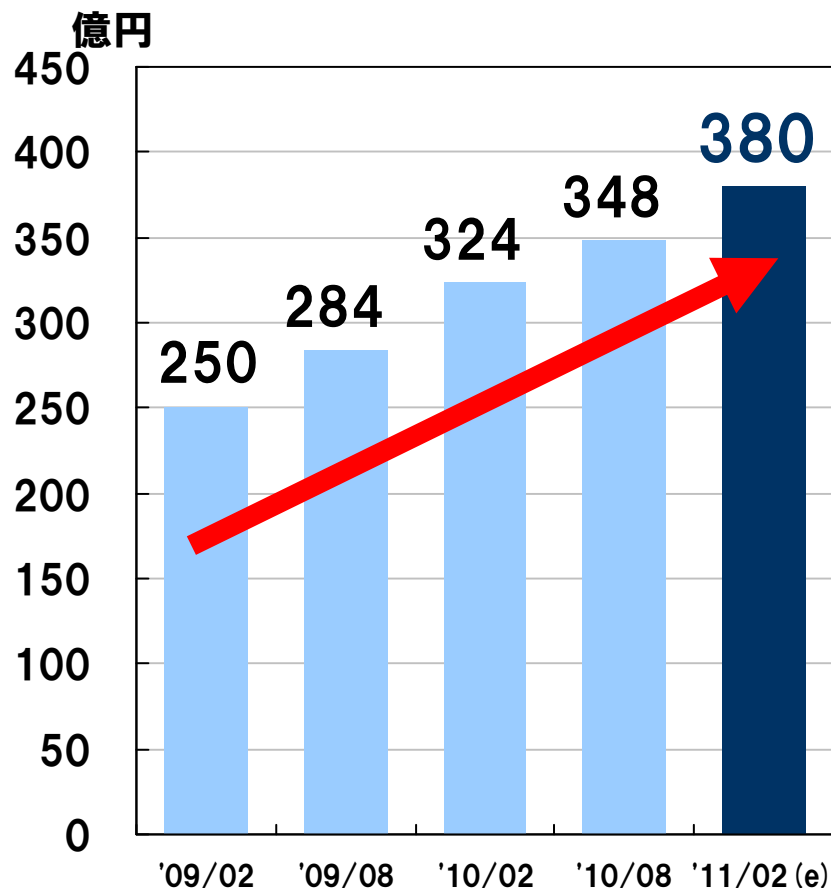
〈キャッシング残高 1,075億円（同△105億円）〉

4. カード戦略の再構築

5. 業務効率化・コスト削減の徹底

ショッピングリボの成長性維持、残高の拡大

1. ショッピングリボ残高計画



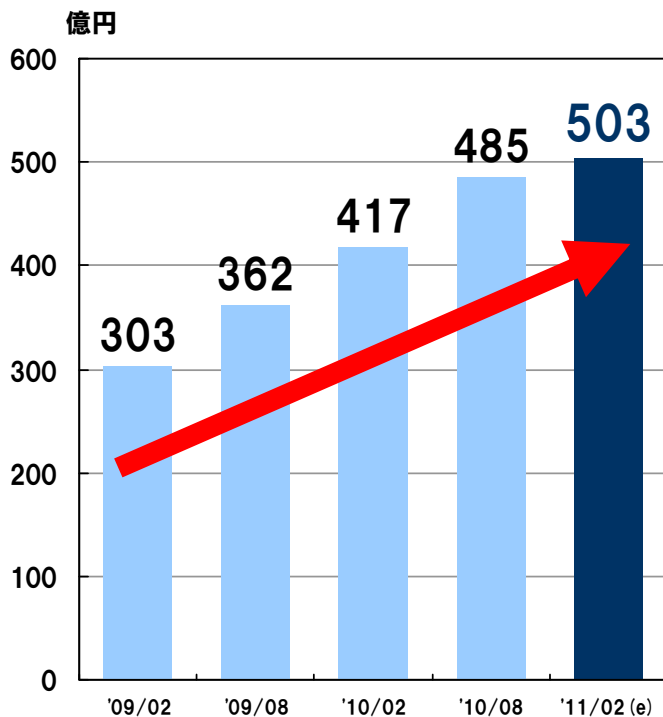
従来の拡大戦略を継続

- (1) リボ宣言・あとリボ推進
- (2) FLEXYカードの獲得強化
- (3) ZOZO等の若年層市場の開拓強化
- (4) 改正割賦販売法への適切な対応

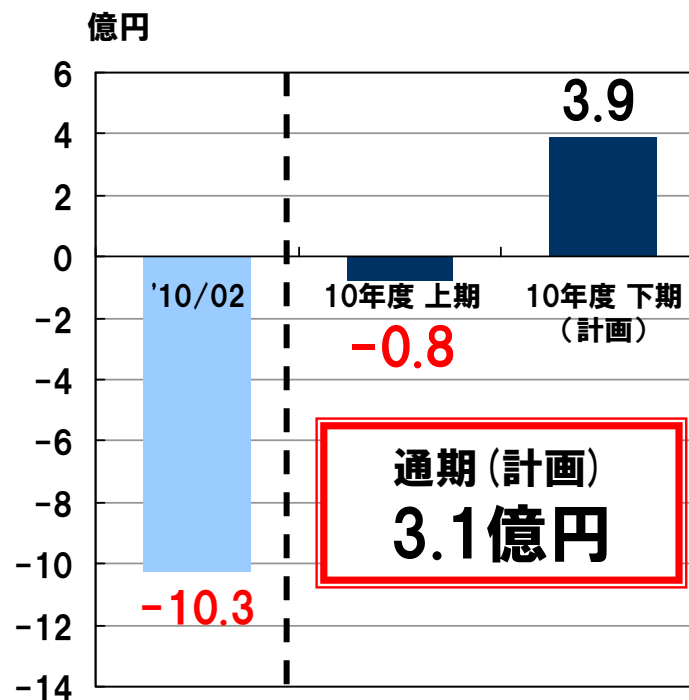
2. プロセッシング事業の強化

月次黒字幅の拡大、単年度黒字の達成

1. 保証残高計画

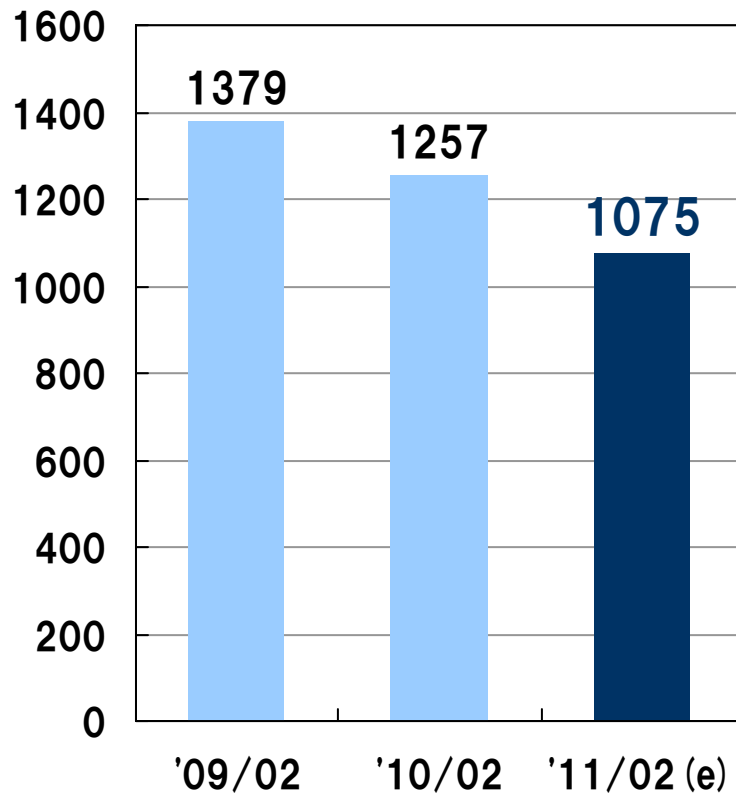


2. プロセッシング事業損益計画



総量規制の遵守と影響の最小化

1. キャッシング残高計画



下期重点施策

- (1) カウンセリング・返済見直し商品強化
- (2) 事業性商品等の例外商品強化・推進
- (3) 与信精度向上による延滞抑制

1.カード戦略の再構築の取組み

(1) プロパーカードの再構築

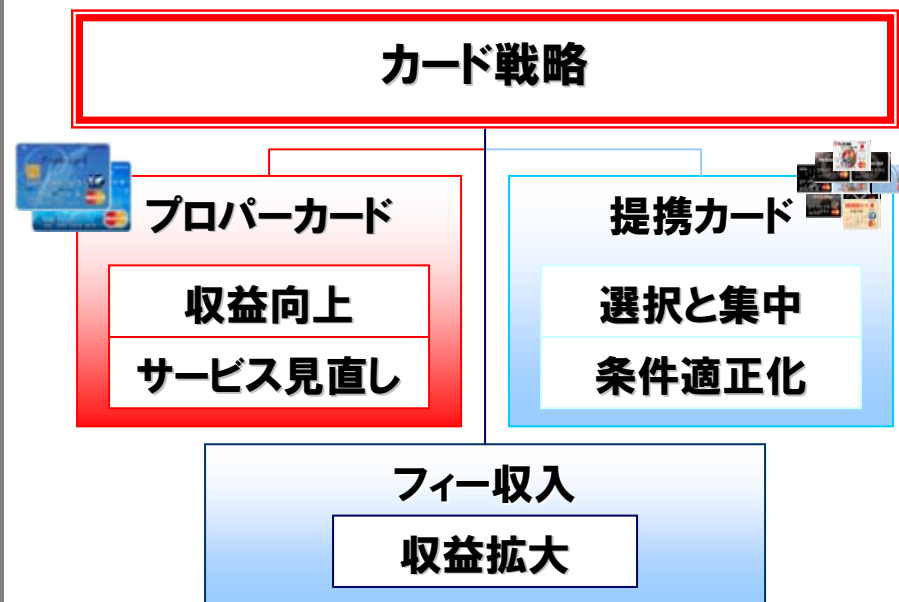
- ・ 11月より新プロパーカード発行
- ・ 年会費、手数料徴収の推進
- ・ 特典・サービスの見直し

(2) 提携カードの見直し

- ・ 提携先企業の条件見直し

(3) フィー収入の拡大

- ・ 保険架電受託等の新たな取組み
- ・ 各種会員向けサービスの拡充



経営改善計画で掲げた目標額を上回る
前年比**13億円**のコスト削減を実施

1.業務プロセス見直し

- ① オペレーションの抜本的見直し
- ② 運営コストの徹底削減
- ③ 特典サービスの適正化

年間削減額 7.9億円

2.人件費・組織のスリム化と効率化

- ① 全役職員の報酬カット
- ② 部室統廃合、人員削減による組織のスリム化

年間削減額 5.1億円

SMFGグループ・伊藤忠グループの持分法適用関連会社として 財務面・マーケティング面の両方で緊密な関係を継続

SMFGグループ



三井住友銀行

SMBC Sumitomo Mitsui Banking Corporation

持分法適用



スロミス
PROMISE

持分法適用



クレジットカードサービスを創造する
ポケットカード

伊藤忠グループ



持分法適用

伊藤忠商事



あなたと、コンビニ。
FamilyMart

ファミマクレジット
ファミリーマート

 伊藤忠エネクス株式会社
ITOCHU ENEX CO., LTD.

 伊藤忠食品株式会社
ISC FOODS CO., LTD.

 magaseek
The Real Fashion is here.

	2010年度 計画	前期差
① 営業収益	362 億円	△13 億円
② 営業利益	22 億円	+90 億円
③ 経常利益	22 億円	+90 億円
④ 当期純利益	14 億円	+55 億円

◆本日の説明会に関するご質問、個別IRミーティング
開催のご希望、その他IRに関するご質問
などございましたら下記までご連絡ください。

＜IRに関するお問い合わせ先＞

経営企画部 IR・広報担当 廣田・外崎

TEL：03-5441-3450 FAX：03-5441-1231

E-mail：koho@pocketcard.co.jp

弊社IRホームページ

<http://www.pocketcard.co.jp/ir/>